

新入荷商品のご紹介



4枚の型を使って作られた2017年国展に出品の大作です。キャンバスからあふれ出さんばかりのまさに身にまとう絵画。

高山和子 型絵染 名古屋帯

691200円



実用的で、コストパフォーマンスにも優れた東レのシルック。気軽なお出かけや雨の日のお出かけにピッタリ。

洗える着物 (東レ シルック)

43200円

趣味の着物、草履・下駄、着物のお手入れ、着付けなどお気軽にご相談ください。

きもの新聞 2017年11月号

ごあいさつ



寒くなってきたにもかかわらず、まだ半そでで寝ている今日この頃です。これから年末にかけて風邪なんか引いてられないので、そろそろ冬支度をしないとイケませんね。11月はそういえば、早いものでカフェを始めて1年が経ちました。1年間続けてこれたのも皆様のおかげです。まだまだ、ふらふらとしておりますが、皆様に喜んでいただける空間とメニューを考えていきたいと思っております。これからも末永くご愛顧のほどよろしくお願いいたします。

特集 高山和子さんの型絵染



この作品のモチーフの『泰山木』花言葉は前途洋々だそうです。



先月は型絵染の釜我さんをご紹介させて頂きましたが、今回も同じく型絵染高山和子さんをご紹介いたします。余談ですが、先月豊橋で開催した『型染を巡る旅展』では多くの方にお越し頂きありがとうございました。台風が会期中来る予報が出ていて心配しましたが、何とか行うことができたので良かったです。



師匠である添田敏子さんは型絵染界の重鎮で、海外でも展示会を行って見えます。

その時に展示させて頂いたのが、この高山さんの帯。モチーフは『泰山木(たいざんぼく)』というモクレン科の植物で、まるで手描きで描いたような大胆な作風が特徴。これは上の写真を見て頂くとわかるのですが、師匠である添田敏子さんのキャンバスからあふれ出しそうな、個性的な作風に影響を受けているようにも思います。通常型絵染は、1枚の型で作ることが多いのですが、この作品は4枚の型を使って作っていて、2017年の国展に出品された大作(レプリカではないです)です。帯地も型絵染の巨匠添田敏子さんに頂いたものらしく、地厚で存在感のある力強い手触りが特徴です。

確かにお値段は目が飛び出るほど高価ですが、これらの作家さんの作品は身にまとうことのできるアートとして、絵画や陶器などと同じように代々大事に引き継いでいって頂きたい逸品なのです。



洋装に、和装に、肩から掛けても、膝にかけても、いろいろな使い回しができる重宝する逸品。シルクなので肌触りも抜群です。

シルクシヨール

27000円



新作印伝 財布 (かぐわ)

23220円



ピンクと白の漆で映かせたバラの花園。伝統的な印伝を華やかに彩る印伝の新作財布です。

呉服の河内屋

〒444-0521
愛知県西尾市吉良町上横須賀八王子62
http://www.gofuku-kawachiya.co.jp
メール info@gofuku-kawachiya.co.jp
tel 0563-35-0039 fax 0563-35-3539

もっと着物を楽しもう!
かちゅうあんブログ

http://ameblo.jp/kawachiya/
日々、ブログを更新しています。
着物のこと、日常のこと、音楽のことなどつづっています。
チェックしてみてください。

twitter、facebook、
アメブロやっています。

着物・和雑貨のかわちや
フェイスブックページ

http://www.facebook.com/kawachiya888